

## 疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	デュピルマブで皮疹や痒みが残存した方のトラロキシマブの治療可能性
当院の研究責任者	皮膚科 三間芳人/五十棲健
本研究の目的	デュピルマブでも皮疹や痒みが残存する患者は一定数存在するが、その際に次の法補となる薬剤のデータは限られている。2 年ほどで登場したトラロキシマブはデュピルマブよりも半減期が長く、DLQI の改善率もよく、より長期で効果が発現していく薬剤であるが、デュピルマブ投与後のトラロキシマブへ変更したデータはまだ世界的にみても多くは存在しない。そこで我々はデュピルマブからトラロキシマブへ変更した症例を蓄積して皮疹スコアや痒みスコアやDLQI がどのくらい改善するのか検討することとした。
調査データ 該当期間	西暦 2025 年 4 月から 2027 年 03 月までの情報を調査対象とする
利用又は提供を開始する 予定日	西暦 2026 年 01 月から
研究の方法 (使用する情報)	●対象となる患者さま アトピー性皮膚炎に対してデュピルマブ投与歴があり、トラロキシマブに治療変更された患者様 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する 患者背景(年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、薬歴等) 生理学的検査値(身長、体重、BMI、血糖など) 血液学的検査値 生化学的検査値 痒みスコア PP-NRS 皮疹スコア EASI DLQI などの生活への質への評価、問診票(文書にて同意のサインを頂きます)
試料/情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法	■他の機関への試料・情報の提供はない
研究代表機関	東京警察病院
個人情報の取り扱い	本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように加工した上で、細心の注意を払い安全に管理します。本研究により得られる研究結果は個人が特定されることではない形でまとめ、英語論文や学会で発表させて頂く場合がございます。 他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別が出来ないよう措置を行います。
問い合わせ・連絡先	東京警察病院 皮膚科 三間芳人/五十棲健